

歓喜の歌 楽都に響く

郡山で「新春の第九」特別演奏会

東日本大震災と東京電力 日、郡山市のけんしん郡山
福島第一原発事故からの復興文化センターで開かれた。
興を祈念する「みんなで歌 市、市教委、福島民報社
う第九の会」の第六回特別 などの後援。小学生から八
演奏会「新春の第九」は六十代までの男女約四百七十



復興を願い、「歓喜の歌」を高らかに響かせる参加者

人による大合唱団、市内出身のプロの演奏家や音大生、市内の愛好者ら約百人で特別編成したオーケストラが出演した。プロの音楽家も共演した。

ベートーベン作曲の「交響曲第九番合唱付」を第一楽章から奏でた。第四楽章からは合唱が入り、復興への願いを込めて荘厳な「歓喜の歌」を響かせた。市内外の音楽ファンら約二千人が来場し、会場からは大きな拍手が湧き起こった。

同会は二〇一三(平成二十五)年に市内の音楽関係者で結成。被災した県民の心を勇気づけようと毎年、「第九」の演奏会を開いている。

◇ ◇
同会はサントリー芸術財団の「第七回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」に選ばれており、演奏前に会場で贈呈式が行われた。